



59-70

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 30日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
住所 株式会社デンソー
氏名 林 新之助
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0566255511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社デンソー 広瀬製作所
事業場の所在地	愛知県豊田市西広瀬町桐ヶ洞543番地
事業の種類	29 電気機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

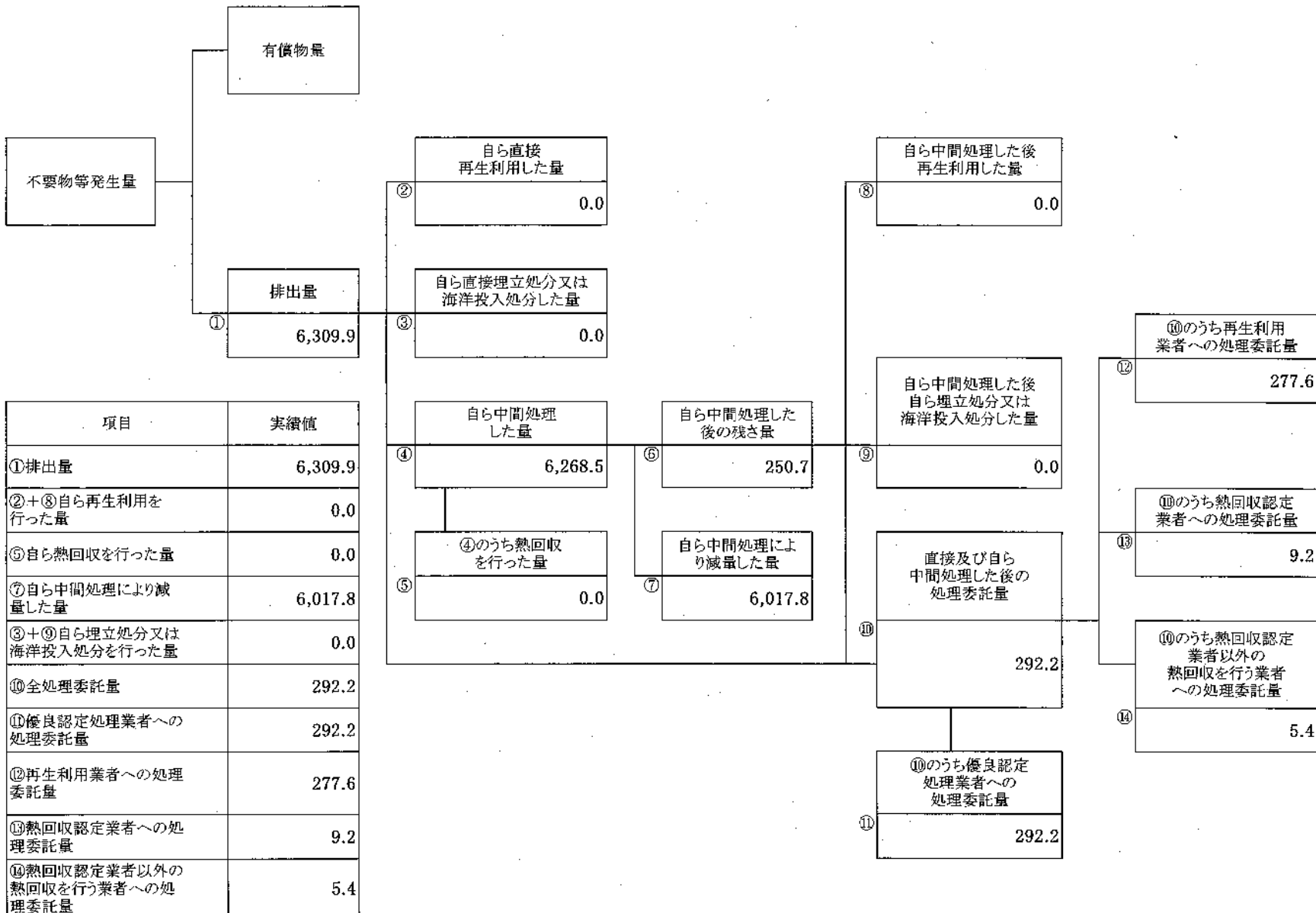
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7518t	全処理委託量	543t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	543t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	443t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6990t	認定熱回収業者への処理委託量	20t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	80t

※事務処理欄

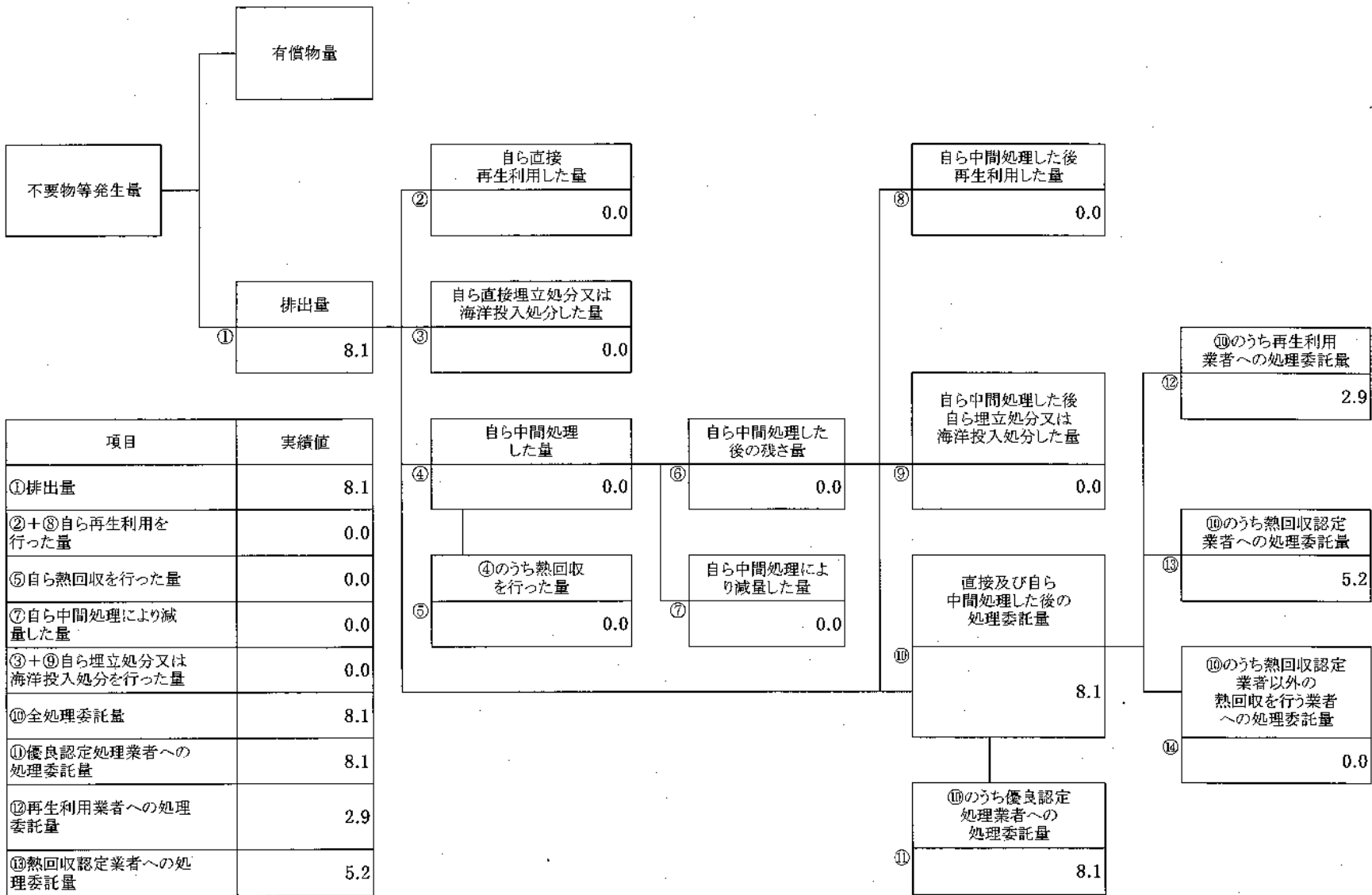
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:汚泥)



計画の実施状況

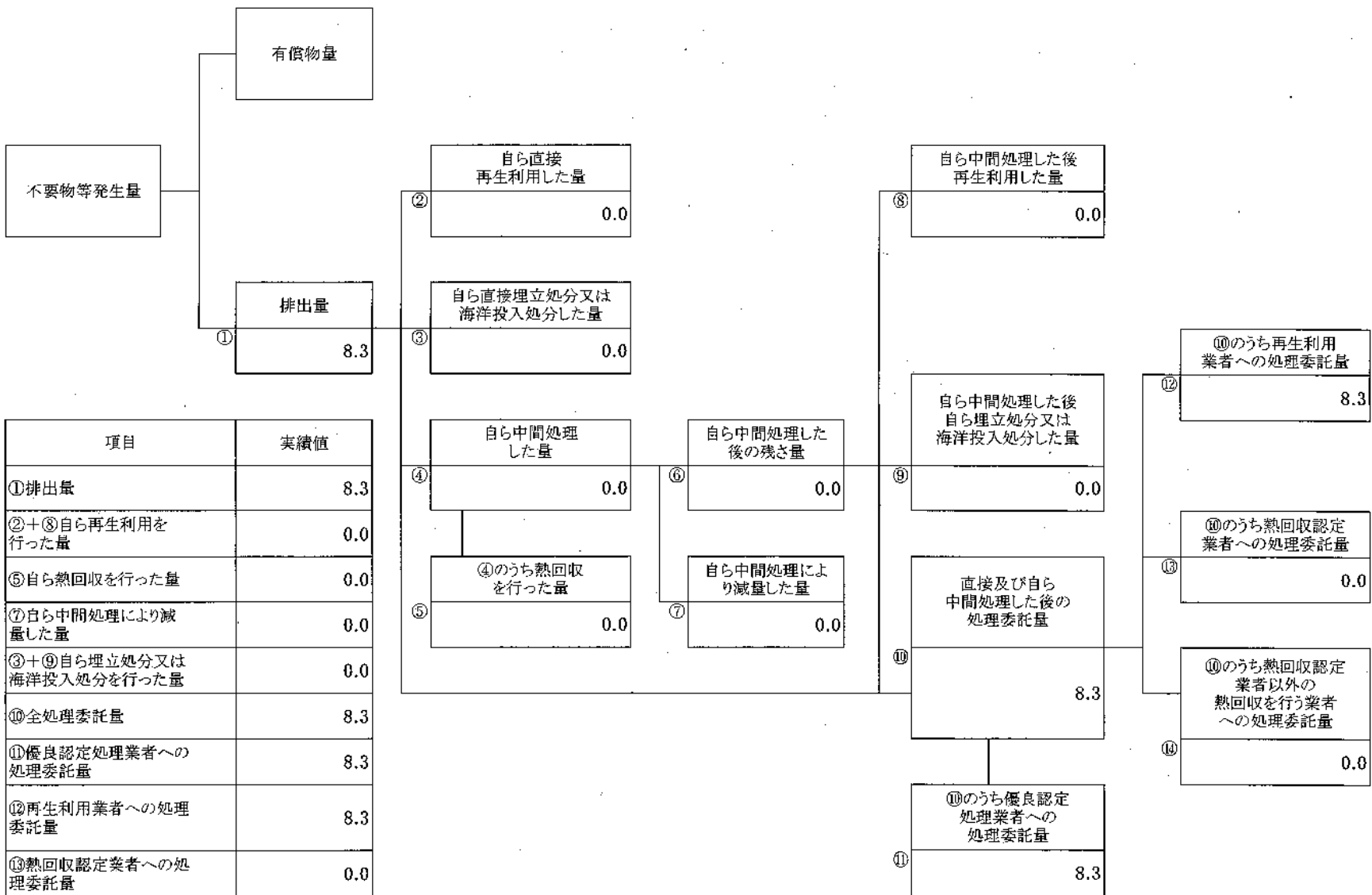
(産業廃棄物の種類: 廃油)



項目	実績値
①排出量	8.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	8.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.1
⑫再生利用業者への処理委託量	2.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	5.2
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

計画の実施状況

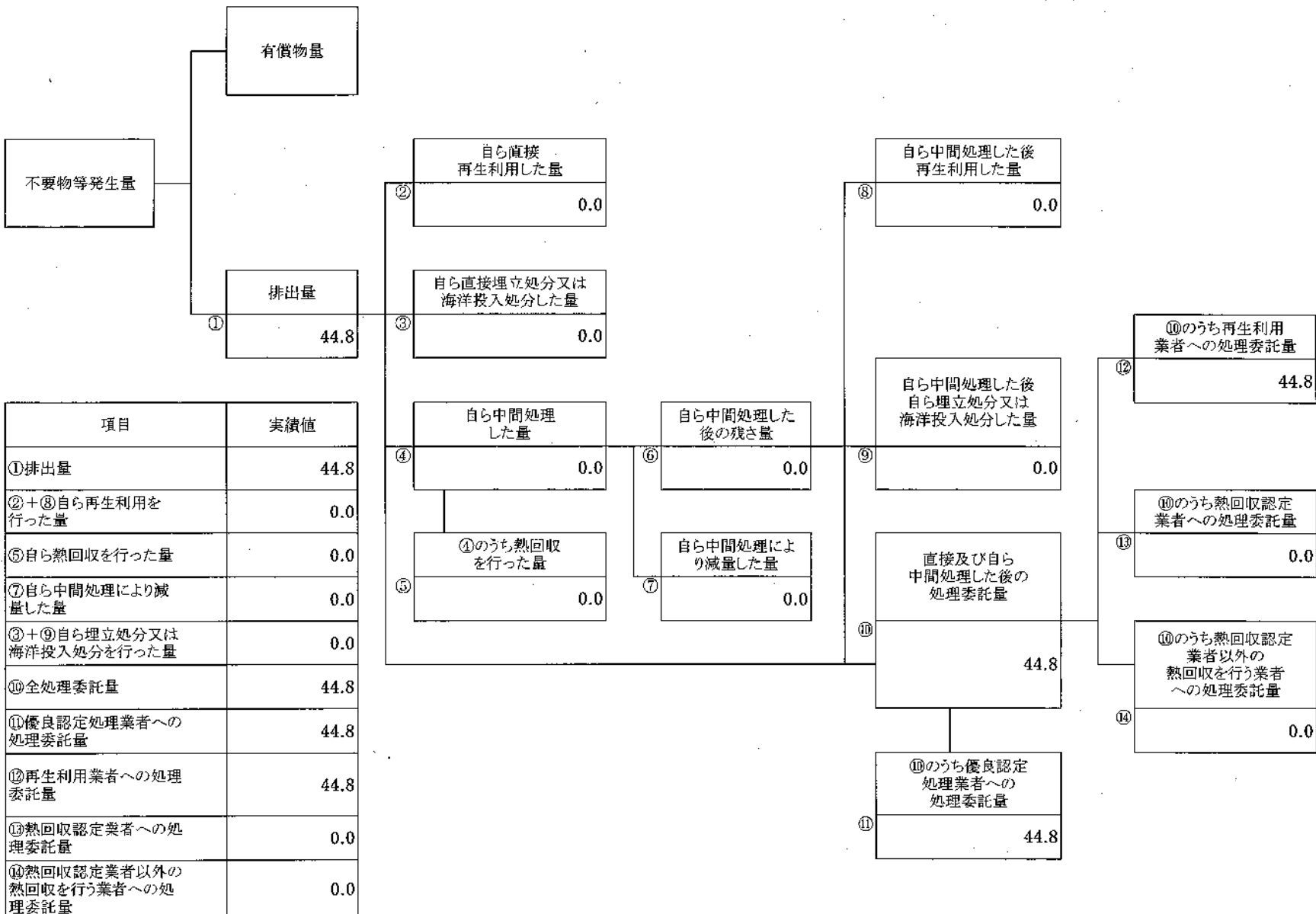
(産業廃棄物の種類: 廃酸)



項目	実績値
①排出量	8.3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	8.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.3
⑫再生利用業者への処理委託量	8.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

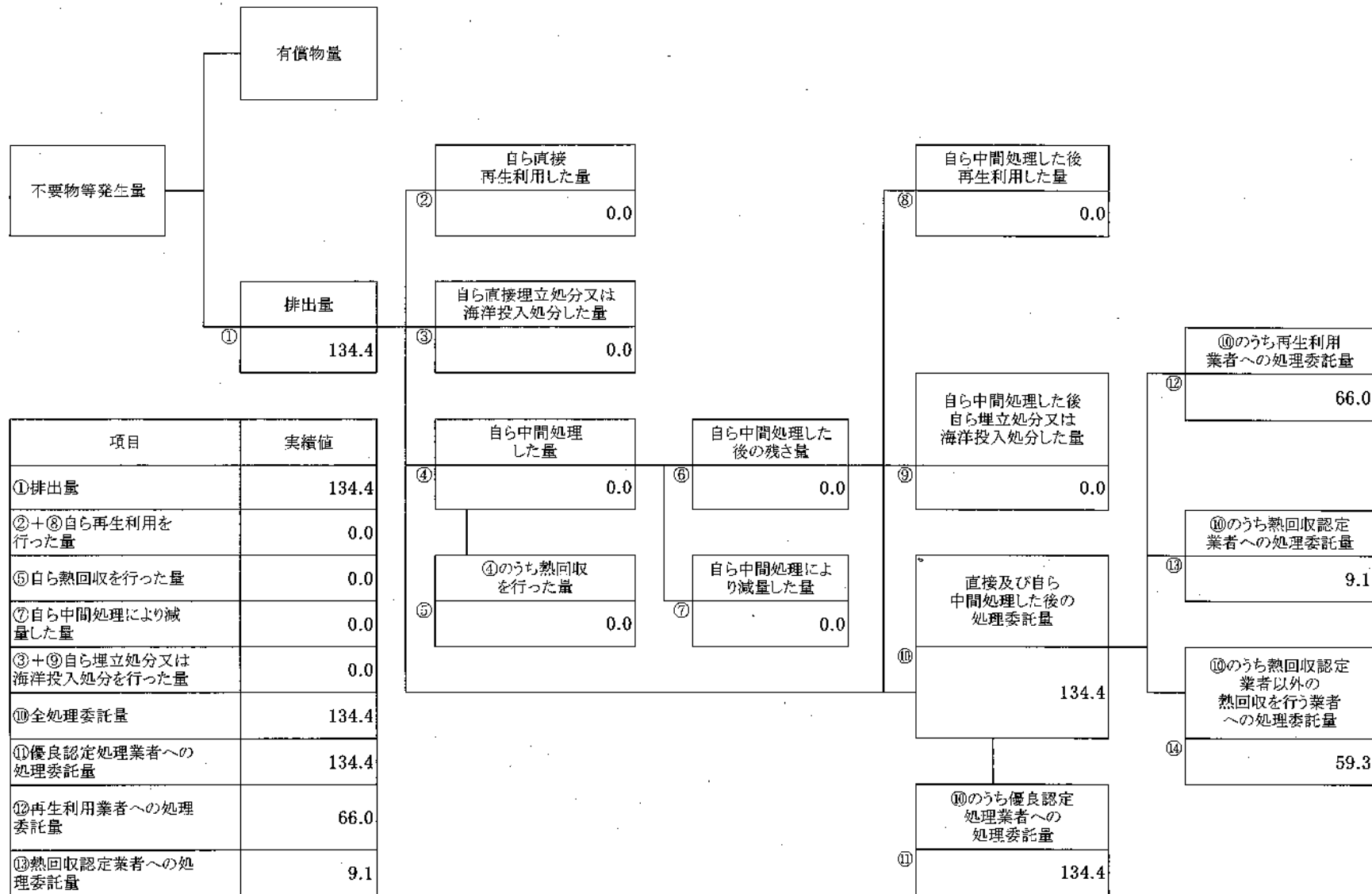
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



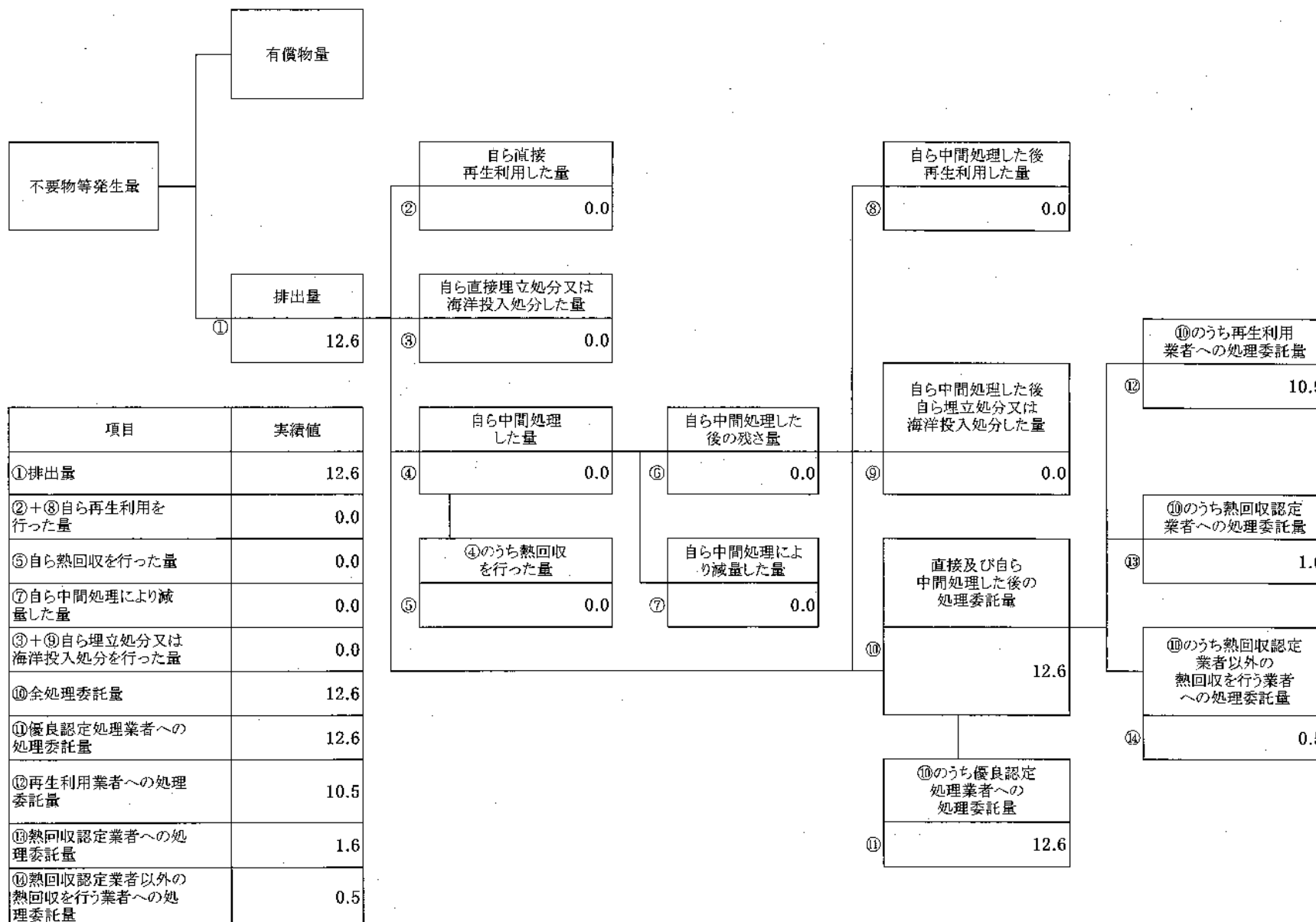
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラ類)



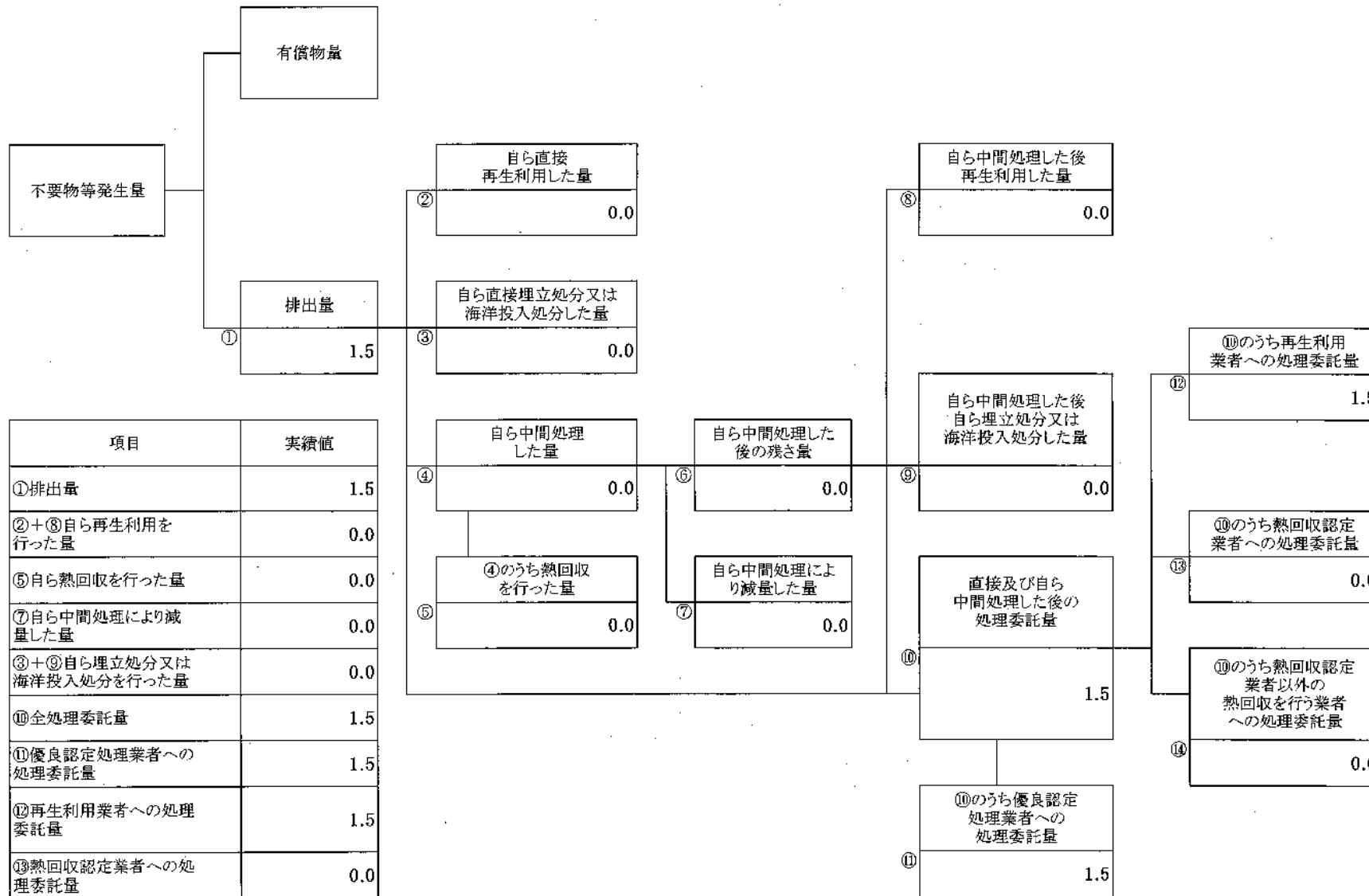
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



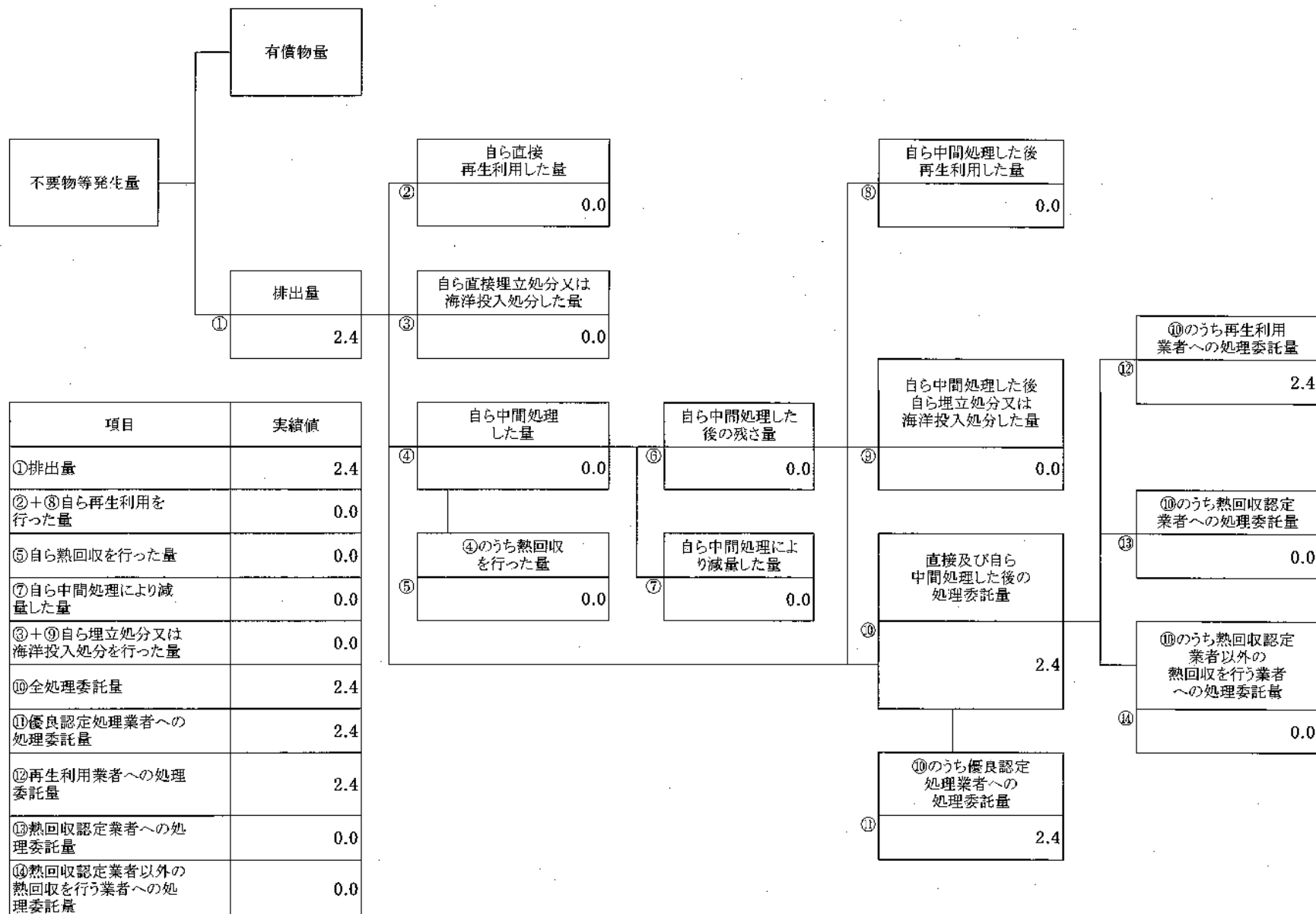
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず等)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:木くず)



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社デンソー 広瀬製作所	従業員数 (人)	1,350	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	森川 憲一	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-46-6317	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,490,600	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類
		排水処理汚泥類	ケラント廃液類	エッチング液類	剥離液類	プラスチック部品類
前年度計画の実施状況 (R5年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	6,309.9	8.1	8.3	44.8	134.4
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	6,309.9	8.1	8.3	44.8	134.4
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	6,268.5	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	6,017.8	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	250.7	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後に自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑧-⑧)	250.7	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	41.4	8.1	8.3	44.8	134.4
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	292.2	8.1	8.3	44.8	134.4
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	292.2	8.1	8.3	44.8	134.4
	処理方法	A・B・C・D E () (Eは原料化等)	A・B・C・D E () (Eは原料化等)	A・B・C・D E () (Eは原料化等)	A・B・C・D E () (Eは原料化等)	A・B・C・D E () (Eは原料化等)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後に再生利用した量 (t/年)	292.2	8.1	8.3	44.8	134.4
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後に埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	292.2	8.1	8.3	44.8	134.4
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	6,017.8	0	0	0	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社デンソー 広瀬製作所	従業員数 (人)	1,350	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	森川 憲一	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-46-6317	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	26,490,600	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		金属くず 混合切粉類	ガラス及び陶磁器くず 破石類	木くず パレット類		
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	12.6	1.5	2.4		
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0		
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	12.6	1.5	2.4		
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0		
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0	0	0		
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑧-⑨)	0	0	0		
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	12.6	1.5	2.4		
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	12.6	1.5	2.4		
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	12.6	1.5	2.4		
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0		
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	12.6	1.5	2.4		
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0		
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	12.6	1.5	2.4		
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0		
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	0		

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。